

みずほCustomer Desk Report 2018/07/11号(As of 2018/07/10)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.06
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.96	1.1756	130.46	1.3256	0.7470
SYD-NY High	111.35	1.1762	130.74	1.3301	0.7484
SYD-NY Low	110.81	1.1690	130.10	1.3225	0.7431
NY 5:00 PM	111.01	1.1745	130.43	1.3274	0.7458
NY DOW	24,919.66	143.07	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,759.20	3.00	日本10年債	0.0400	1.00bp
S&P	2,793.84	9.67	米国2年債	2.5837	2.46bp
日経平均	22,196.89	144.71	米国5年債	2.7629	1.19bp
TOPIX	1,716.13	4.34	米国10年債	2.8665	0.91bp
ソコ日経先物	22,260.00	45.00	独10年債	0.3180	1.85bp
ロンドンFT	7,692.04	4.05	英10年債	1.3005	4.50bp
DAX	12,609.85	65.96	豪10年債	2.6355	3.40bp
ハンセン指数	28,682.25	▲6.25	USDJPY 1M Vol	6.65	0.45%
上海総合	2,827.63	12.52	USDJPY 3M Vol	7.10	0.28%
NY金	1,255.40	▲4.20	USDJPY 6M Vol	7.55	0.25%
WTI	74.11	0.26	USDJPY 1M 25RR	-0.48	Yen Call Over
CRB指数	198.29	0.06	EURJPY 3M Vol	8.00	0.00%
ドルインデックス	94.15	0.07	EURJPY 6M Vol	8.45	0.05%

【昨日の指標等】

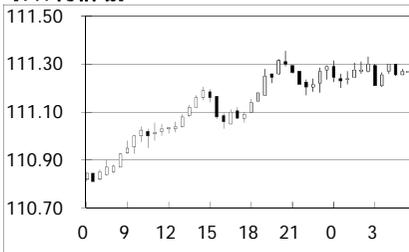
Date	Time	中	Event	結果	予想
7月10日	10:30	中	CPI(前年比)	6月 1.9%	1.9%
	10:30	中	PPI(前年比)	6月 4.7%	4.5%
	18:00	独	ZEW景況感(現状/期待)	7月 72.4/-24.7	78.1/-18.9

【本日の予定】

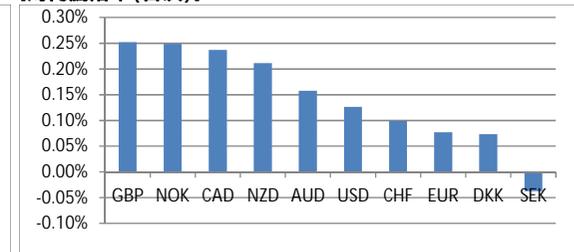
Date	Time	欧	米	加	英	Event	予想	前回
7月11日	16:00	欧				ドラギECB総裁講演	-	-
	21:30	米				PPI(前年比)	6月 3.1%	3.1%
	23:00	加				カナダ銀行翌日物貸出金利	-	1.50%
7月12日	00:35	英				カーニー英中銀総裁講演	-	-

東京	東京時間のドル円は110.96レベルでオープン。前日海外時間の流れを引き継ぎ日経平均株価や米金利が上昇基調となったことを背景にドル円は111円台まで上昇。五・十日の実需勢によるドル買いの相俟って一時111.20まで上昇した。その後は特段の新規材料ない中で狭いレンジ内での推移が続く。111.08レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、111.08レベルでオープン。特段の材料も無い中アジア時間に続きドル円は堅調に推移。一時は111.35まで上昇する場面も見られ、111.27レベルでNYに渡った。ユーロは1.1737レベルでオープン。朝方発表された独7月ZEW景況感の先行指数が予想を下回る結果となると、ユーロ売りが強まり1.1690まで低下。同水準では下げ止まり。結局1.1705レベルでNYに渡った。ポンドは1.3229レベルでオープン。ブレグジット案を巡り主要閣僚の辞任が相次ぐ等、混迷する英政権においてメイ首相の不信任決議がなされない見込みとの報道を受け、一時1.3301まで買われるが、直後に英5月鉱工業生産が予想を下回り上昇分をはきだし、結局1.3247レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は111.27レベルでオープン。主要な米経済指標の発表が予定されていない中、翌日以降の米PPI、CPI結果発表を控え、朝方は狭いレンジでの推移が続く。正午過ぎになり株式市場が堅調に推移する中、円売りに下値をサポートされ111.33まで上昇するが、新規材料に欠ける中、その後は開散な推移が続く。NY7月直前になり、トランプ政権が中国に対して追加の2000億ドルの関税リストを準備しているとのヘッドラインが伝わったことから薄利取引の中、110.95まで下落し、111.01レベルでクロスした。一方、ユーロは1.1705レベルでオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、株式市場が堅調に推移する中、ユーロの買いが強まり、ユーロの下値はサポートされ、1.1733まで上昇する。午後ユーロの買いに連れて1.1750まで上昇し、1.1745レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.10 - 111.10	1.1700-1.1800	129.00-130.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場は、序盤は前日からのリスク選考の流れを継続し、ドル買い優勢の展開となり、ドル円は111円35銭付近まで上昇。しかし、トランプ米大統領が中国への追加関税を課すとの報道が上値を抑える結果となり、111円40銭には到達せず。その後、米総務相は新たな追加関税の対象となる可能性がある中国製品のリストを公表し、ドル円は急激に円高方向に戻し、足許は110円90銭付近と111円割れの水準での取引となっている。米国からの追加関税の情報が公表された中、本日アジア時間での中国側の対応が懸念される環境下、引き続きドル円は上値が重い展開が予想され、再びリスクオフを意識した展開を想定したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。